

目次

はしがき

1 章 持続可能な社会をめざして 北野 大 I

二十世紀はどんな世紀だったのだろうか 二十世紀の技術
を振り返る 技術の発展と環境問題の発生 自然とどの
ように向きあうか 持続可能な社会をめざして

2 章 地球の自然環境と生物 蟻川芳子・片山葉子 25

地球のプロフィール 大気圏とオゾン層 地殻と土壤

地下資源 水の惑星 水圏生態系 土壌生態系

生物圏のしくみ——物質循環—— 自浄作用と環境汚染

バイオレメディエーション

3章 地球規模の環境問題 小倉紀雄 47

環境問題と国際的取組みの経緯 地球温暖化 オゾン層
の破壊 酸性雨 残留性有機汚染物質による海洋汚染
森林減少・野生生物種の減少 その他の地球環境問題

4章 水と食と環境 大竹千代子 67

飲料水の安全と環境 食と環境 食品の安全性 これ
からの方向性

5章 住まいと環境 杉本マキ 87

住まいの中の化学物質 室内環境が健康に与える影響
室内空気を汚染する化学物質 化学物質の室内濃度
住生活の安全性確保のために

6章 化学物質の健康影響と安全管理 中澤裕之・井之上浩一・川口 研 101

化学物質の生体への暴露 有害物質の評価と規制 化学
物質の管理

7章 ごみとリサイクル 酒井伸一 113

国レベルの物質収支 廃棄物対策の原則——3Rプラス適
正処理・処分—— おもな製品群のリサイクル制度と廃棄
物・化学物質関連制度 リサイクルと廃棄物処理の実態
ものの循環・廃棄と化学物質対策

8章 経済活動と環境保全 岩田規久男・日引 聡 133

消費活動と環境汚染 環境問題を解決するかぎは技術開発
か？ 市場は万能か？——市場メカニズムの効率的な資源
配分機能—— 環境が悪化するのなぜか？——外部費用
と市場の失敗—— 環境倫理・環境教育とその実効性
環境問題の解決策——規制的手段か経済的手段か？——
環境低負荷型社会構築に向けて

9章 環境政策とその実現の手法 浅野直人 151

日本の環境政策の基本法 環境基本法の考え方 環境基
本計画の考え方 現代の環境政策の重要課題と環境基本計
画の「戦略的プログラム」 戦略的プログラムの課題の特

徴——直接規制的手法の限界—— 直接規制以外の政策実現
の手法——「枠組み規制」—— 枠組み規制と他の政策実現
手法の組合わせ 経済的手法の機能 地球環境保全への
国際的協力

10章 科学技術と社会 …………… 鳥井弘之

科学技術の発展と恩恵 科学技術発展の陰で 社会と科
学技術の関係の変化 リスクコミュニケーション

もつと知りたい人のために（参考図書ほか）……………